故障かな？と思う前に・・・

製品に不具合が生じた場合は、「壊れた！」と思う前に下記の確認事項を参照の上、必ず一度ご確認下さい。

症状	原因及び解決方法
温度が表示されない	配線（白）（赤）（黒）の配線箇所が違う。配線を再確認して下さい。
	配線を再確認しても改善されない時は、接触不良が考えられます。
VFC作動LEDが点灯するが、ファンが回らない	配線（緑・黄・青）の配線箇所が違う。配線を再確認して下さい。
	配線を再確認しても改善されない時は、接触不良が考えられます。
追加センサーの温度が表示されない	配線（茶・桃・灰）の接触不良。
	追加したセンサーのワーニング温度を設定していない。ワーニングを設定して下さい。
各種チェックランプが点灯する	配線の配線箇所が間違っている。全配線箇所をチェックして下さい。
	配線（黒）の接触不良。接触を確認して下さい。
温度表示が2～3℃の幅で動く	配線（黒）からノイズが乗っている。アース不良の可能性があります。
	配線（白）もしくは（黒）の配線箇所が違う。配線を再確認して下さい。
他の電装品に温度表示が影響される	配線（黒）からノイズが乗っている。アース位置を変更して下さい。
	配線（白）の接触不良。接触を確認して下さい。

取付及び、各部確認が終わったら・・・

《本体機能及び、作動の確認》

①温度表示の確認

※全ての確認や取付等が終わりましたら、エンジンを始動させ、本体に電源が入る状態にして下さい。
まず、スタートデモンストレーションが約4秒間表示されます。
スタートデモンストレーションが終了しますとメイン表示部に水温が表示されます。
この時、メイン表示部の水温とアナログ表示LEDの温度が連動しているか確認して下さい。

※次に専用の温度センサーが取付けられている時は、サブ温度表示部に水温が表示されていることを確認して下さい。表示されていない時は、MODEボタンを押して表示させて下さい。
表示されない場合は、専用センサー用のワーニング温度が設定されているか確認して下さい。
「TEMP2.」表示時はTEMP2.LEDが点灯します。

②VFC機能の確認

※走行をする前に水温を設定したVFC通常作動温度まで上げて下さい。
上がった時に電動ファンが通常作動するかを確認して下さい。
作動時にVFC　LowのLEDが点灯するかを確認して下さい。

ファン高速作動の設定がある車種に関してはVFC高速作動設定温度まで、水温を上げて下さい。
水温が上昇したら作動速度が高速に切替ることを確認して下さい。

次にファン作動ヒステリシス（温度差）の確認です。
初期設定にて入力した0～8℃にて、ファンが停止するかを確認して下さい。
（例：温度差2℃に設定、VFC温度80℃の場合、78℃でファンが停止するかの確認）

③ワーニング状態の確認

初期設定に従い、水温のワーニング温度を下げて現在水温以下に設定して下さい。
設定後、水温表示状態に戻ると、各LEDが点滅し、該当温度の表示部が点滅します。
この状態がワーニングに入った時の状態なので、忘れずに覚えておいて下さい。

《注意》 追加センサー2のみ、電圧表示状態でもワーニング状態を把握することができます。
電圧表示状態にて、サブ表示部の「WARNING」LED及び「TEMP-Ⅱ」LEDが点灯した時、
追加センサー2がワーニングに入った状態であるということを確認しておいて下さい。

《注意》 追加センサー3は、該当温度表示時のみワーニング機能を使うことができます。電圧及び、
追加センサー2の情報表示時は追加センサー3のワーニング機能が無効となりますので、
ご注意下さい。